

お 知 ら せ

件 名 【第6報】広域防災フロート（室蘭港）の支援活動について

お知らせ内容

第5報にて、3月22日(火)15時に相馬港（福島県相馬市）に向け出港していた広域防災フロートの支援活動について、下記のとおりお知らせします。

既にお知らせしていた支援内容と派遣日程等が変更になっています。

【現在までの支援内容】

悪天候により大船渡港に寄港し、第3報時のほぼ予定通りの支援物資を陸揚げし（別紙）、自衛隊により被災地（岩手、宮城、福島県内の生活支援拠点）に届けられている。

理由）当初より大船渡沖で、横浜港から派遣する引船に交代する予定であったが、犬吠埼付近の荒天により横浜港を出港できない状況になっていた。このため、大船渡沖において約1.5日の余裕が出来たことから、支援物資はなるべく早く被災者のもとに届けるという視点で、急遽寄港し当初通りの支援物資を荷揚することが可能となった。

【今後の予定】

現在、大船渡港で天候調査中。気象予報等から、出港は早くて3月27日頃になる予定。なお、出港後、約24時間で相馬港での支援活動が可能となる予定（相馬港支援開始は3月28日以降）。

【支援物資の荷揚量】

（1）大船渡港揚げ：

①燃料油 200リットルドラム缶（ ）内は第3報情報であり、現地の要請を踏まえ量を変更している。

灯油：500本、軽油：90本、A重油：40本
合計：630本（670本）

（2）相馬港揚げ：

①燃料油

灯油：100本、軽油：20本、A重油：60本
合計：180本（140本）

②生活物資 第5報の生活物資は、予定通り相馬港にて荷揚。

※ 第3報については、北海道開発局ホームページの報道提供資料に掲載しています（3月20日掲載）。

問 合 せ 先	所 属	役 職	氏 名	電 話 番 号
	北海道開発局 港湾空港部	港湾計画課 課長	笹島 隆彦	内線5611

大船渡港での防災フロートの係留状況（中央の鉄塔の間にあるのがフロート）



大船渡港での支援物資の夜間荷揚状況

